

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>問い、ネットワーク、世論調査、見出し、5W1H</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>新聞の記事は「逆三角形」。 下調べのしすぎは「NG」 インタビュー時、質問の柱は最高「3つ」</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>なぜ、写真の向きでイメージが変わるのでしょうか？ 見出しの文を書くコツは？</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>とても良い時間だったと思う。 とくにインタビュー術は、これからの活動力を助けてくれそうだと 思った。 また、それをふだんの会話に役立たせることもできると考える。 多くのことを教えていただいた三好さんに感謝を伝えたい。</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	テーマ・批判的思考力・引用・具体的な「問い」、仮説・インタビュー・アンケート・下調べ・ディテール・5W1H・客観的状況・段どり
S5: 新たに 知ったこと	図表や写真は文の補足になったり、文をひたすら書くよりも分かりやすかったりする。取材するときに、下調べはしすぎると先入観ができるので下調べは適当にする。新聞でははじめに結論、後に説明をかく。
S6: 疑問	アンケートをとるときに、より多くの人に解答してもらうにはどうしたらいいか。
ふりかえり	テーマを設定する際、情報をうのみせず、価値を考える「批判的思考力」が必要なのにおどろいた。また、引用は長すぎると「めだ」と知り、今まで「け、こう長かったから短くまとめられているところをさがして引用できた」と感じた。私は人に何か伝えるとき、5W1Hがぬけていて相手に話が伝わらないことがよくある。なので「文の中に5W1Hをいれることを心がけたいです。」

(2) ふり返り

S4: キーワード	レポートの書き方 レイアウト インタビュー etc
S5: 新たに 知ったこと	・必要以上の話を削ぎ、それをよとめる 1つのおんげに 1つのテーマ テーマを忘れない
S6: 疑問	・美しく良いテーマをきめるには どうしたらよいのか
ふりかえり	・三良さんの話によると、新聞やレポートは 内容を分かりやすくするため 5% に書い ているようなことをいしきしだからかんがえる。 テーマについてはたくさんをこころいし てこそよく書こう!! インタビューでは自分の話をするよりも 相手の話を聞きまよとめることが大切 であるはず。

<p>S4: キーワード</p>	<p>情報を集める時は、実際に話を聞くことが大事だ</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>FWのコツは、実際に現場に行って調査する。 下調べをしすぎない、上調べをしすぎると先入観かいて 主あからしちゃうから、またインタビューをメモする。</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>要約するとき、書く部分と書かない部分の判断基準は? 考査解説と問題解説の違いは? どこまでがゴビヘなのか?</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>私は、文章題を読む時や、誰かの話をメモするとき どこに線をひいたらいいのか、メモするべき 内容が有るのかがわかっていなかった。でも、 おれさんの話を聞いて、インタビューのメモをするときは、 大事なキーワードなどを線ごますること わかりやすいメモができてきたと知った。 また、テーマを決めるときは、賛否がわかる テーマの方が問いについて書きやすいと知った。</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	取材の対象の客観的状況を把握 取材の対象に問題点、改善点を見つける。
S5: 新たに 知ったこと	<ul style="list-style-type: none"><li>◦ 現場主義が鉄則 → この方がわかることが多い</li><li>◦ 聞き上手に、その人のアポイントに合わせたつもりで書く。</li><li>◦ 敬意をもった態度で臨む。</li><li>◦ 記事は段差をつけて書く。</li><li>◦ 下調べは適度に行う。</li><li>◦ 批判的的思想が必要</li></ul>
S6: 疑問	<ul style="list-style-type: none"><li>◦ 実際には質問して相手の言ったことか、むしろ聞いていたりあまり答えてくれなかったりするときはどのように対処しているのか。</li></ul>
ふりかえり	新聞は毎朝必ず読んでいますが、その中のユタ、書かまひ、種かくのくられているということはよくおこりました。1死ユタなという記事になっているときはおこっているけれど、実際にはその中で感じられることか、さだまあり、たからこそ現場で書く方がいいというのはとても大事だと分かりました。他にも急なニュースが入ったときなど、どの記事を小さくして文をよみやすい形にできるかなどの部分は届いたときには分からないけれど、お話を聞いてその裏の様子がよく伝わりました。普段はあまり聞くことの少ない大切なお話を聞くことか、できたのでよかったです。今後のKPなどともま使えるようにしたいと思います。

(2) ふり返り

S4: キーワード	問いは原因、本当はどうか影響を問うもの 逆三角形をつくる(結論→説明)
S5: 新たに 知ったこと	賛否が別れるテーマ } 比較的考察はす 市民生活に関わるテーマ インタビューのジョ
S6: 疑問	どのくらいまで下調べをすればいいのか。 下調べをしすぎはあまりよくない(た。たすぎもよくないから 何%くらいがいいのか。
ふりかえり	とても興味深い公演でした。 次の原素新聞という科学の課題を完ぺきほしたいです。 また、今週金曜にFWがあるので、それで、インタビューのジョを おしえてもらったことを生かしたいです。

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>5W1H 具体的な問い Xリリ、バランスのあなレイアウト 批判的思考力</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>・質問は3つ程考えておく。時と場合によりますが、下調べは しなきゃ ・取材写真と角度によって ・5W1Hが分かる文章をかく。印象が変わる ・1つの段落には1つのテーマ。読むときに間違えが起らないレイアウト</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>簡潔さと分かりやすさを両立させる要約の仕方とは、</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>5W1Hという言葉は耳にしたことがあったが、それを文章に 活用すると分かりやすくなるということは初めて知った ので、これから使おうと思った。段落の分け方などで 読み手が間違えを受け取り方をすることかばいよう、 確認することが大切だと感じた。誤字が1つある だけで信憑性が欠けてしまうというところは納得した ので、気をつけた。今日学んだことを生かしてこれからの 研究やポスター制作等を頑張りたい。</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	・批判的思考力 ・原因・影響 ・リズム・正確 ・モニター ・誤字 ・フェイス ・逆三角形 ・下調べ ・市民生活 ・客観的状況 ・段どり ・トッポ ・5W1H ・問題点 ・改善点
S5: 新たに 知ったこと	インタビューをする時の下準備やその場での聞き方や話し方。 問いをたてる時は原因や影響から考え、フェイスではないかも 調べた上で行うこと。また、ポスターにする時の構成やトッポ や中央を目立たせることが「ポイントだ」ということ。
S6: 疑問	批判的思考力を養うためには何をすれば良いのか。
ふりかえり	「ポスターを書く構成としては、「調べる→必要な話を集める→ →話を組み立てる→書く→トッポと真ん中を目立たせて紙面化」 という5つの流れが基本軸となっていることを知れた。また、 改めて「5W1H + witch」を意識することの重要性を 感じた。取材対象への客観的状況（事実と意見をはきり） を把握し、問題点と改善的を示すというのは、新たな 気づき、学びとなった。そして、逆三角形（結論から先に書き、 後から理由を書く）の書き方（フィールドワークの時は細部を ×モレ、事前にある下調べはしすぎず、現場の雰囲気を読んで おくということも10月25日のフィールドワークで活用しようと思う。



(2) ふり返り

S4: キーワード	・見出しの場所, 大きさ ・逆三角形
S5: 新たに 知ったこと	人が分かりやすいようなポスターは大切なワードを 上にもっていくことが大切
S6: 疑問	ポスターの一番上の見出しに注目してもらうためには, どのような大きさと書くのがいいのか?
ふりかえり	自分は、よくポスターを書いていて、全てが同じ 大きさの字にそろえて、作り、人々の興味を ひくようなポスターを書くことができませんでした。 ですが、今回、三好さんの公演を聞いて、 人々の興味をひくポスターのかき方だけでなく、 アンケートを実施する際のユツなど、ポスター作成に 大切なことが沢山学べた。

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>批判的思考 仮説</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>市民生活に関するテーマは関心が高い。 新聞は見出しを見るだけでほとんど内容がわかる</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>アンケートはどれくらいの中身と見るべきかわかるか?</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>アンケートは信憑性が上がるように 下質問でもあるとしている。 見出しはわかりやすく 取次ぎは楽田かえ。</p>

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>まず、必要な語を集め、書き出す前に語を組み立て、 一つの段落に一つのテーマ 同じ話題は同じ段落に、テーマから目を離さない</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>記事を書くときは、写真の位置を初めに決める 見出しは記事にくっつける 写真には、場所と説明をつける</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>文字のフォントにはどんな決まりがあるのか</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>三好さんの記事を書くときのポイントや決まり、 位置、説明などに気をつけていくと思います</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	テーマ, 興味関心, 批判的思考力, 区別, 情報, 価値, 「問い」, 現場主義, 仮説, フラッシュアップ, 事実, 賛否
S5: 新たに 知ったこと	「RQのたて方」 <u>このみにせず、疑問をもつ情報の価値を判断</u> 1. テーマを設定するとき → どんなテーマであっても「批判的思考力」が絶対必要であること 2. 引用するとき → 自分の意見と区別し、出典を明記して権利を守る大切 3. 具体的な「問い」を決める → 仮説を立て、情報を分かりやすく整理するのがよい 4. 問いを深め、フラッシュアップするとき → チェックしながら「現場主義」が原則
S6: 疑問	写真からレイアウトを決めていく理由は? 写真、見出しの大きさの決め方は? 効率的に、ポスター等をつくるには? 火玉をはやく、分かりやすくするには? 「現場主義」は本当に、いいポスター等をつくるのに大切?
ふりかえり	三姉さんの特別講義も、火玉を取り、考えながら聞くことができた。前半に紹介された「批判的思考力」がとてもしばらく残っている。情報の真偽が分かりにくい現代においてとても大切なことだと感じた。また、「現場主義」も情報を確かなものにするためのものだろう。しかし、現場よりもインターネットで信用できるサイトで調べた方が効率的なのでは? と疑問に思った。写真を配置した後、見出し、記事を入れていくというレイアウトの決め方を知ることができたので、これから、ポスターなどをつくるときに、役立てていきたいと思った。

(2) ふり返り

S4: キーワード	・テーマを設定する際には「批判的思考力」が絶対必要 ・テーマを設定したら、具体的な問いをたてることが大切 ・取材の際は、取材対象の客観的状況を把握し、問題点と改善的を示すことが大切 ・ニュースの基本は「5W1H」
S5: 新たに 知ったこと	・テーマは、さまざまな意見が出て、何が正解というようなものがないものか良いかと思っていたが、「賛否がわかれるテーマ」の方が考察しやすいと知った ・新聞を書くときは、横に細い線を引いたり見出しは記事にくっつけたりするなどの工夫をすることでより分かりやすくなる分かった。
S6: 疑問	・インタビューをする際にどのような質問をするのがよいのか ・メモを取る際にどのようなことに気をつけて話を聞けばよいのか
ふりかえり	私は今回の講義を聞いて、ポスターや新聞を作るときには読んでくれる人の事を考えることが大切だと感じました。例えば、記事の内容はできるだけ読者の関心が高いものになり、構成は、見出しを記事にくっつけて読みやすくするなどです。あと、記事を読みやすく書く、というのも重要だと思いました。そのため「5W1H」を意識したり、書き出す前に話を組み立てたりするとよいと知りました。 今まで「5W1H」などは聞いたことはあったし、それがなにかも知っていましたが、それを意識して文を読んだり書いたりしたことはなかつたので、これからはそのようなことにも気をつけて読みやすい文章を書いて、たくさんの人に読んでもらえるポスターや新聞を作りたいと思いました。

S4: キーワード	5W1H.
S5: 新たに 知ったこと	インタビューするとき、下調べとある程度してから聞く。質問数は約3つほどがちょうどいい。誘導およぶような質問×
S6: 疑問	新聞を腹切りしすぎないとはどういうことか。
ふりかえり	今日でこんどフィールドワークするときのいい質問、インタビューのしかたなど何か分からずよかったので、また新聞の見出しのしかたなどいろいろなことをまなべました。

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>批判的思考力      5W1H      下調べ      ティテール 逆三角形      一覧性      現場主義      比較 聞き上手      具体的      変化</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>引用の注意点や ネット情報の使い方や、フィールドワーク、アンケートなどのコツも知ることができました。また、よりたくさんの情報を得るための方法をたくさん知ることができました。</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>自分で集めた情報もかたよりなく記すにはどうすればよいのか。 使用しなかった情報をどのように管理しているのか。</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>KPの授業でも情報のあつかい方を学んでいます。今回の三好さんのお話を聞き、情報の集め方やまとめ方を知ることができました。 インタビュー術や引用のくわしい注意点・レイアウトのポイントなどの貴重なお話をしっかりと自分の研究へといかせるように、プリントやメモをみかえして、つかっていきたいと思います。 また、このような機会を大切にして、積極的に話を聞き続けて満足するのではなく、質問を自前に考えたりして、自ら情報を引き出せるようにしたいと思いました。</p>

(2) 振り返り

S4: キーワード	批判的思考か 下調べしすぎ → 先入観 が生まれる SWIH 問 → 賛否分かれる 市民生活 逆三角形
S5: 新たに 知ったこと	仮説を考へるとき → 現場に行っ方が良い (事前に考へる) 質問は少なくする 新聞は... 最初に結論 → そこから展開 そうすると"か"に記事をかきかえらる!
S6: 疑問	インタビューに「アニ」として臨むにはどうしたら いいか インタビューの時、メモはどのくらいあればいいか (新聞など) 自分の意見は入れた方がいい?
ふりかえり	様々な発見や学びがあった講演だ。アニ!! 特に私が「なるほど...」と思っただのは ① 逆三角形... ビックニュースが入るまで"か"に記事を 変えらる! ② 下調べしすぎ"な"ことでも。 ③ は私も小学生のころの インタビュー"な"を思い出すと 「確かに先入観 生まれちゃったかも...」と思うと"か" いくつもある。また 問"を立ってたり、選別してたり する際、「賛否分かれるテーマ」を 問"にする 考察しやすいというのは 本当に発見だに感動し た。この時にも意識して"と思った。

あまり記事が無い日はある? その時はどうする?  
記事に誤字が無いかの確認をなぜ AI などでではなく  
人の目で行うの?



(2) ふり返り

S4: キーワード	・批判的思考力 ・直接話し
S5: 新たに 知ったこと	・新聞記事の書き方(特にスクープなどに対する書き方) ・インタビューの仕方
S6: 疑問	・気がかない内に自分の意見が文章に入っていたりしたことはありませんか?
ふりかえり	・いつものKPの授業よりも学年全体が楽しんでいるようだった。 ・三好さんの話は、ひじょうに新聞記者らしい話のしかただった。

(2) ふり返り

S4: キーワード	SW/H 批判的思考力 現場主義 下調べ 逆三角形 テーマ 問い
S5: 新たに 知ったこと	よくおんはあまりあこからきのおせなにと
S6: 疑問	「下調べ」は、インタビューの何日前くらいか ら手をつけるべきなのか?
ふりかえり	プロの方に2時間もまとめ方やインタビュー について、こねこにおしえていただきとても 有意義な時間でした。 メモの内容がうすかったので次はもっとかき 込んでいきたいです。

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>逆三角形 SWIIT 判断的思考力</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>「逆三角形」「SWIIT」 「記事を書くときの基本技」</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>「逆三角形」について詳しく教えてほしい。</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>記事を書くときの基本技の詳しい内容を知ることができた。 新聞やレポート、ポスター等を作るとき、SWIITを探し、分かりやすい文章を作れるように話を聞き学ぶことができた。 メリハリやバランスのあるポスター(新聞)を書けるように見出しをどう書くか、書かなければいけないものは何かを教えてくれただけで良い経験になった。</p>

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>テーマ、批判的思考力、問い</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>批判的思考力がどんなテーマであって必要 新聞には思っている以上の特長がある</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>多くの人が「関心を持つ」テーマは市民生活の 他にどのような物があり、またそれらの共通点は何か</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>新聞を見ることも少ないけれど書くことはも と少ないから難しい点はいくつかあった。 分かりやすく説明してくれたのでよく理解 できたので教えてもらったことをしっかり活 用して作りたい。</p>

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>⑤ WITH ⑥ 比喩的思考 ・ 具体化 ・ 逆三角形</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>・ 問いは賛否が分かるテーマで考察しがい ・ インタビューの段取り ① 下調べ ② 段取りを決めたい ③ 事前に考える質問の作り ④ 何かというしこでさく ⑤ 具体的にさく ⑥ 変化を聞く ⑦ 比較する ⑧ 相手のリスムにあるところ ⑨ 知らないがわりし ⑩ 聞き手がしつこく ⑪ 正確さ豊かさ両方重視ゴール</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>主張を前にいけると逆三角形になるといっていいから早くは主張 解説にたてできるからその具体的な例をどういこうか</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>おもしろいかなの事で、たくさん的大事な事をきくことができ新しい 学びについてわかったのでとてもいいインタビューができん と思う。とくに問いを考えることに苦戦してはいたか う三女子さんの話しを聞いて、賛否が分かるテーマに するてきめやすいと聞きつきりにむとくわしく問いを考える ときはそれ子さんこうにしてい、さいいて思、いまは</p>

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>5W1H (何) : 何 : 一面 トップ</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>5W1H (What, Why, Where, When, Who, How) 何を大きく見せるように工夫・テーマは大事 残してはダメ</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>新聞の挿入はどのように決めているのだろうか(同じような重要度の場合はどうなる?)</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>ボト新聞ボタの書き方 見出しでたいげいの構成をスる 絵や写真は挿入 そこに空いたところを文で メリハリバランスが超 ように 引用・日付・作者をい。</p> <p>記事の書き方・まとめ方 ・文から脱線しない ・取材対象の客観的状況を把握し、問題点と改善点を示す ・5W1H (When, Where, Who, What, Why, How) を用いながら ・一筋書きに一筋だけ ・書出前、話を組み立てる</p>

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>「批判的・的・的・的・的」 「問い」 ヒント、ツツの伝し方</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>らwIHという二コースの基本「when」「where」「who」「what」「why」「how」が「ちり」はめられている。新聞の技! 話を集める! くみ立てる! 一つの段らくに一つのテーマ。(段らくの使い方)</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>三好さんは新聞、記事を書いたことがあるのか。あるならそれはどんな記事かこのワークシート(?)にのってることだけで記して書くの?</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>私は新聞や記事を書くことがあまり得意ではないのですが、今回教わったことも有用に使ってうまく組み立てて作つたらうまいきょうです。いろいろなことを書くとき、計画、手帳がなく、位置づきが悪くて、ぎこちない文章が「まっぐ」じゃなく、なめになつてしまひます。なのでうまいきょうに書くようにしたいです。文章を考えた時、調べた時時間も「らwIH」を思い出して積極的に使ひ、内容もがんばりたいです。</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	批判的思考力、逆三角形の書き方、見出し前文
S5: 新たに 知ったこと	引用には注意があり、コピーなども禁止。問いを決める時は、見ってもらうためや関心を引くために賛否が分かれるテーマなども有り
S6: 疑問	速報で入ってきたニュースなどを入れる時、逆三角形の書き方でも、他のところにも入れないといけないから入れるけど消さないといけないからその順位は?
ふりかえり	今回の話を聞き、もちろん新聞の書き方もただそれだけじゃなくて、普段文を書くときや、KPのまとめ字習、理科の引用、様々なことに使えるコツを教えてください。



(2) ふり返り

S4: キーワード	引用、自分の意見、出典、批判的思考が
S5: 新たに 知ったこと	インタビューをするときは段取りを決めすぎない方がいい いいということ。下調べをしすぎると先入観が できてしまうこと。テーマは賛否の分かれるような ものがいい。
S6: 疑問	下調べはどれぐらいしていくとよいのか、
ふりかえり	引用するときにあらぬといけないうこと、しておいた方がいいこと、フィールドワークのときのコツ、インタビューのコツなど"をこれからは意識してやっていきたいと思った。下調べの重要さが分かった。

(2) ふり返り

S4: キーワード	具体的な問い、世論調査
S5: 新たに 知ったこと	市民生活に関わるテーマは関心が高い 直接取材すると新たなことを知れる。
S6: 疑問	どうしても情報が足りないときはどうする べきなのか?
ふりかえり	新聞を書くときの注意点を興味があきやすい テーマなどをしる)とかで生かされた。 これからはテレビニュースなどもせっきよく白く してほしいと思った。

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>段落で紹介 SWIH 藤原彦</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>記事やポスターの効率的なつくり方。</p>
<p>S6: 疑問</p>	
<p>ふりかえり</p>	<p>いままではなんとなく記事あつてしたが、 これからプロで教わった方法に沿ってかいていく。 具体的でわかりやすい書き方。</p>

(2) 振り返り

S4: キーワード	レイアウトは <u>バランス</u> を意識する 質問はしすぎない
S5: 新たに 知ったこと	インタビューをするときは下調べ"をするが、段どりを 決めすぎない方がよいこと。 素朴な質問もして良いこと
S6: 疑問	インタビューをしてその回答をポスターなどにするとき どこに聞いた人の名前などをかけばいいのか
ふりかえり	インタビューをするとき、しっかり段どりを決めて 下調べもたくさんして 質問に対する答えを 予想してから行った方が良いと思っていたけど 甚だしいにうながるので"やりすぎはよくない ということを知った。 聞いたことを参考にして効率のよいインタビュー をしたいと思った。

(2) ふり返り

S4: キーワード	・批判的思考力 ・テーマ ・問い ・フィールドワーク ・アンケート ・インタビュー ・新聞⇔ポスター ・5W1H
S5: 新たに 知ったこと	・新聞の記事は、初めに結論、後に詳しい説明という構成 ・新聞の取材の仕方や事前の準備は、相手との関係や人数によつて変わる ・新聞の取材の仕方や記事・紙面の書き方の工夫は、ポスターにも活かせる。
S6: 疑問	・インタビューで、自分の質問に対する相手の答えから、さらに別の質問へつなげることもうまくなるには？
ふりかえり	実際に神戸新聞の記者である三好さんの話を聞いて、今後新聞やポスターを書くときに活かせることが多く知ることができた。また、その際にする取材では、特にインタビューのコツが多くあってそれをほとんど実践できるようになれば短い時間での大勢への取材でもより多数の人から色々なことを聞けると思う。最初の方に教えていただいた「批判的思考力」は、新聞やポスターを書き終えてから自分で読み直し、より良いものを作る時にとっても重要なのではないかな。と講義後、思った。三好さんが教えてくださったコツを最大限活かし、良いものを作りたいと思う。

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>批判的思考力、アンケート、記事</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>引用の際は出典を明示して、知的所有権を守る。 賛否が分かれるテーマが考察しやすい 仮説を考えるために、情報も集めて整理する お民生活に関わるテーマは関心が高い</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>新聞にかいいある情報はどれほど正確なのか！ インタビューした内容を思っていたものとは異なる時に 書きかえるのは可能なのかな！</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>今回の講演では、新聞の特長やフィールドワーク の工夫、アンケートのヒントなどを詳しく 教えてくれた。特にインタビュー術は これから大切にしたいと思うので、しっかりと おぼえておきたいなと思った。 新聞は読み手が読みやすいように イラストや文字をおいしくしていることを はじめに知った。</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	批判的思考力, 5W1H, 具体的な問い, アンケート 客観的状況, 問題点と改善点, 逆三角形, 生の声
S5: 新たに 知ったこと	1枚 20.4円かかる。 見出しは究極の「要約」→関心を引く 同じ話題は同じ段落に
S6: 疑問	要約を上手にするためには?
ふりかえり	よるおそくにビッグニュースが飛び込んできても すぐに取り込めるようにしているところがすごく 心に残っています。前々へんに大事なことを書いて 何を言っているのかわかるようにする技術にも かんしんしました。また写真の配置場所に 気をくはしているところもすこすかと思ひま した。読者に分かりやすくする点がまね したいと思ひました。

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>テーマの設定 批判的思考力 コピ・パ・厳禁 見出し 前文 図表 インタビュー アキート スケルボロリー 下調べ 一覽小生 ↓ 現場主義</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>・新聞の真ん中あたりをヘソという ・柱となる質問はるつぐどいかわい ・インタビューでは質問はかりではなく相手の返答をしっかりと聞く</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>・文章の書き出しはどうしたらいいのか ・新聞の見出しの改善はどうしたらいいのか</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>全体的にすごく分かりやすく、なるほどと思うことが多かった。中にはこれから使っていけそうなものがあり、これらのことを忘れずに日々の探究活動に取り組みようと思った。どんなテーマでも批判的思考力が大切である、という所はKPだけでなく、これからの情報が飛びかう現代社会に於いても深く実用的だと感じた。</p>



(2) 振り返り

S4: キーワード	批判的思考力, 「テーマ」, 「FW」, 客観的意見, 「アンケート」 「アンケート」と真ん中を目立たせる, 「5W1H」, 「見出し」, 「インタビュー」 「具体的な目的」, 「活用」, 「逆三角形」, 「デザイン」, 「段落」, 「メモ」 → 新聞で使われる
S5: 新たに 知ったこと	インタビューするとき、質問は3問の「いい」と 新聞は「結論→説明」することにより、先に話を分ける ようにしており、深夜の大ニュースも書くことができる。
S6: 疑問	インタビューのときに質問をどうしても少なくすることが 出来ず、た場合はどうするのか。
ふりかえり	私は情報をうのみにしかたなので、疑問を持つことを 意識しようと思いました。また、下調べのせいで、 その情報をうのみにしてしまうので、考え方が偏ることが よくあるので、気を付けなければいけないと思いました。 どんなテーマにも「批判的思考力」を持ち、客観的に 考えることをより一層意識しようと思いました。 「ホスター」などを書くとき、寧ろ多く「絵や写真など」を あまり使えないので、より分かりやすい「ホスター づくり」を元張りたいです!!



(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>SWI H (When Where Who What Why How) レイアウト                      インタビュー 見出し                              フィールドワーク                      など</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>インタビューをするときは具体的で、変化、比較を聞く質問をすべき 批判的思考力を大切にする 新聞のレイアウトのとり方のコツ</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>見る人にインパクトを与える紙面とはどのようなものか</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>三好さんの話には新聞社の人にしか分からないマニアックなものがあり、とても興味をわいた。テーマ問いの話は新書に活用し、レイアウトの話はポスター制作に活用しようと思う。三好さんの話の中で特に勉強になったのはインタビューの話だ。今までインタビューは人に話を聞く程度の人となりのイメージでしかなかったが、話を聞いて、情報を聞き出すためには様々なコツが必要であることを知った。</p>